ツエルトシリーズ

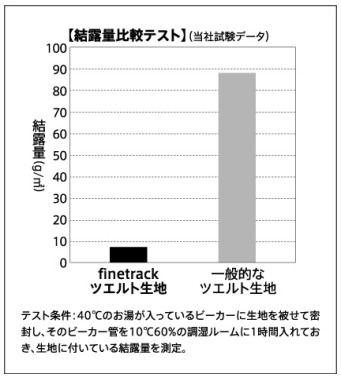
#FAG0106 ピコシェルター (1〜2 人用)
#FAG0104 ツエルト I (1〜2 人用)
#FAG0105 ツエルト II (2〜3 人用)

対結露性・軽量化、そして耐久性を追及した安全のための必須アイテム

従来の軽量コンパクトなツエルトといえば、防水コーティングを施したのみで、透湿性がなく、ツエルトの狭い空間において外気温との著しい温度差ともあいまって、簡単に結露してしまい、その使用感は快適とは程遠いものでした。また、生地の強度の問題で設営時に十分なテンションをかけることが難しく、特に風の強いときの居住性は大変低いものでした。
一方で防水透湿性生地を使用したツエルトは重くかさばるものになってしまい、ツエルトの大きなメリットが失われてしまいます。
積極的に使用する場合はもちろん、非常用だからこそ軽量コンパクトなまま、結露の抑制による快適性の向上は必須であると考えた finetrack は、超軽量の高強力ナイロンリップストップに防水透湿性コーティングを施した生地を新開発。生地厚・重量を増加させることなく、ツエルトに十分な防水性と優れた透湿性を付加することに成功しました。
さらに、新開発のダイニーマ®テープを使用、生地に負担をかけずに高い強度を実現する独自の設営システム、フローティングテンションシステムを開発。高い強度と居住性の向上も実現しました。

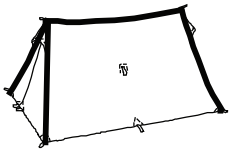
高い透湿性 (対結露性)

超軽量のナイロンリップストップ生地に新開発の防水透湿性コーティングを施し、生地厚・重量を増加させることなく、ツエルトに十分な防水性と優れた透湿性を付加することに成功。ツエルトでビバークすることを想定した実験では、一般的なツエルト生地に比べ、12 分の 1 以下の結露量に抑えることができました。ビバーク時、雨はしのげても内部からの濡れでずぶぬれになってしまう、そんな不快感を大きく軽減します。



高い強度を実現する独自の設営システム
【フローティングテンションシステム】

張力のかかる各辺 (ピコシェルターは天頂部のみ) に合成繊維の最高レベルの強度を持つダイニーマ®テープを縫い込み、高い引っ張り強度を実現。生地に負担をかけることなくしっかりとテンションをかけて設営することが可能で、超軽量の生地の使用を可能にしました。ツエルト生地は、長期間の使用に伴う紫外線や風雨の影響で強度が次第に低下しますが、この設営システムにより、生地強度低下による破壊の危険性を軽減、安全性を高めています。



太線で示した各辺をダイニーマ®テープで補強

優れた居住性

生地に直接力がかかる構造の一般的なツエルトは、設営時に十分なテンションをかけることができない上に、濡れると伸びにより大きくたるんでしまいます。
finetrack のツエルトは各辺にしっかりとテンションを掛けて設営可能なフローティングテンションシステムを備え、独自のカッティングと、吸水せずほとんど伸びがないダイニーマ®テープの性質を生かし、濡れてもたるみの少ない構造も実現。広い居住空間を確保することができます。特に悪天候時にその効果を実感できるでしょう。

※ 張り綱、ポール、ペグは付属していません。

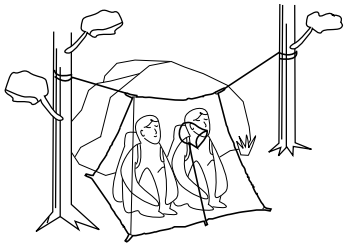
超軽量・コンパクト

2〜3 人用の「ツエルト II」でも 340g、1〜2 人用の「ツエルト I」で 248g、最も小さい 1〜2 人用の「ピコシェルター」では 142g とクラス最高レベルの軽量コンパクト性を実現。また、生地外側には耐久撥水加工を施しており、生地自体が濡れにくいため、使用後の撤収もかさばらず重くならず、容易に行うことが可能です。

素材:超軽量の防水透湿生地

(ナイロン 100%、PU 透湿コーティング、耐久撥水加工)
15 デニール N66 高強力ナイロンリップストップ生地に、ポリウレタン透湿コーティング (2 層からなる直径 5μm 以下の超微多孔質コーティングと耐洗濯・耐久性のある撥水皮膜層の計 3 層からなる)を施し、超軽量ながらツエルトとしては十分な耐水圧 1,000mm、透湿性 8,000g (A-1 法) を実現。生地表面に耐久撥水加工(80 点/50 洗※)を施しています。 ※洗濯 50 回後においても撥水度 80 点 (JIS-L1092 法)

使い方 【ピコシェルター】



①シェルターとして使用

ビバークを強いられる場合は、まず安全な場所を見つけ、服をすべて着込みます。雨蓋や荷物の一部をお尻に敷き、ザックを背中側において斜面や木立によるかかるように座り、頭からピコシェルターを被ってください。ツエルトと体との間に少しでもクリアランスを確保するのがコツです。
手持ちの細引きなどで天頂部を吊り、可能ならばさらに四隅をペグダウンして設営することで、空間が広がり、より快適になります。

②ポンチョ代わりに使用

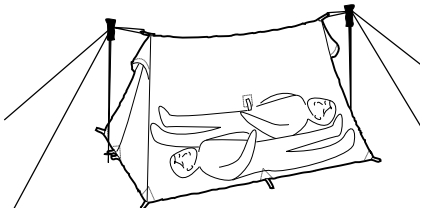
ベンチレーターは頭を出すことが可能なサイズのため、ポンチョのように使用することもできます。
雨具を忘れた、もしくは失くしたメンバーのための予備として、またプラス一枚の防寒具として雨具の上からかぶっても有効です。

③ピコシェルター2 つを合わせて使用

ピコシェルターを各自が安全装備として持つことで、2 つをつなげて使用することが可能。それぞれ一人ずつビバークするよりも快適になります。
ひとつのピコシェルターに足から入り、もう一つを頭からかぶります。ザックや荷物を活用し、ツエルトの布とからだの間にクリアランスを作るのがコツ。横になることも可能です。

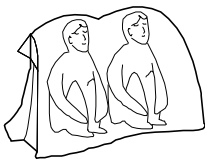
※他にも様々な応用が可能です。ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。

使い方　　［ツエルトⅠ、Ⅱ］



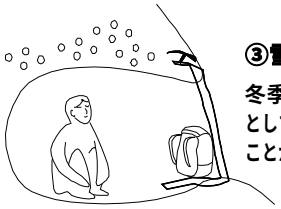
①ストック･ポール等を利用して設営

居住性重視の最も基本的な設営方法です。積極的にテント代わりに使用する場合などもこの方法を使用します。ポールの代わりに直接木などに結び付けても OK。事前にフロアを閉じてから設営するのがポイントです。　※設営方法は後述



②かぶったり、包まって使用

設営の必要がなく最も簡単なため、緊急時や、ちょっとした休憩時に風を防ぐための使用方法です。
一度に多人数を収容可能です。



③雪洞のふたとして使用

冬季･残雪期に雪洞泊を行う際も、入口のふたとして使用し簡単に風雪が吹き込むことを防ぐことができます。

④タープとして利用（ツエルトⅡのみ）

ツエルトの底を開放してタープとして使用することで、広い面積で雨をしのぐことができます。

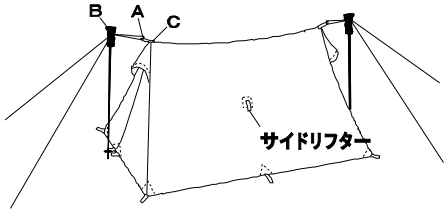
⑤岩場でセルフビレイを取って使用

岩場で張る場合は、ファスナーとメッシュの縫合部に設けた小さな挿入口からツエルト内部にメインロープを通してセルフビレイを取ることが可能です。（ツエルトⅠは片側からのみビレイ可能）

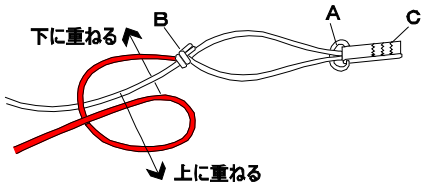
※他にも様々な応用が可能です。ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。

ストック･ポール等を利用して設営する方法

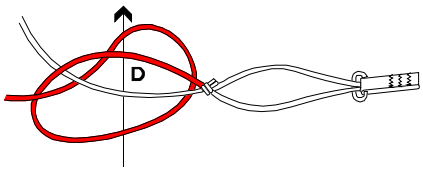
- 用意するもの：直径 2mm～3mm 程度の細引き 5m×2 本
  （ツエルトⅡで居住性をアップさせたい場合は、サイドリフター用のコードを推奨）
- 事前準備：グラウンドシートの底は閉じておく(ピコシェルターはグラウンドシートなし)



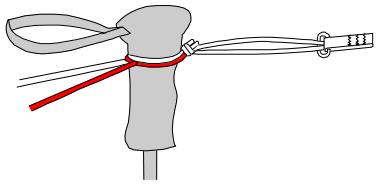
① まず、はじめに 5m コードを半分に折り、半折部分を A とし、ツエルト天頂部端のループ位置を C、ストック･ポールを垂直に立てた位置 B の AB 間の長さのところで、オーバーハンドノットまたはエイトノットで環を作ります。



② 次にツエルト天頂部端のループ C に張り綱を固定します。そして図の要領でループを作り、上下に重ね合わせます。
※A～B のループを除くと、クローブヒッチ(インクノット)と同じ形になります。



③ 重ね合わせたら、2 重のループの真ん中 D にストック･ポールを差し入れます。



④ 高さを決定して、2 本のコードを引っ張ると完成です。最後にストックの高さを微調整してテンションを整えます。
柔らかい雪面であればグリップを上にすると、ストックが沈みません。硬い地面であれば、ストックを逆さまにして石突を下から差し入れても利用できます。

※ペグダウンする各末端では、市販の自在を使用するか、自在結び等で対処してください。

保管の方法

●汚れや濡れたままで保管しますと、カビが発生して生地とコーティングに悪影響を与えます。
●必ず汚れは真水で落とし、陰干しで充分乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

●本品は非常時の露営や休憩時等の使用を目的とした簡易テントであり、自立する山岳テントのような移住性と耐久性、防水性、抗雪性等を求めたものではありません。したがって設営の際は、風雨、風雪の影響を受け難い場所を選んで、安全に注意して活用してください。
●ツエルト内、雪洞内では換気を行ってください。火気取り扱いの際には充分注意してください。
●縫い目のシームテープ加工は施されておりません。表生地側に市販されている一般的なシームコート剤を使用することは可能です。
●ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。

株式会社 finetrack
〒652-0064 神戸市兵庫区熊野町 1-1-4
http://www.finetrack.com　Tel/Fax 078-512-2636